

マイクロソフトオフィスで作業面を広くする

デスクトップパソコンが主流であった頃の主なディスプレイ（ブラウン管・液晶）の縦横比は4：3でした。これはA4サイズの縦置きでページの半分以上を表示できるものでした。しかし、現在のノートパソコンのディスプレイの縦横比は9：16が主流で縦方向の表示が狭くなっています。また、マイクロソフトのオフィスソフトはリボン表示が採用され縦方向の作業面がなお狭くなっています。

少しでも縦方向の作業面を広くするためには

1. リボンを非表示にする
2. 画面の下にあるタスクバーを自動的に隠す（ソフトを使用している間は表示しない）
3. エクセルの場合数式バーを非表示にする

の方法があります。

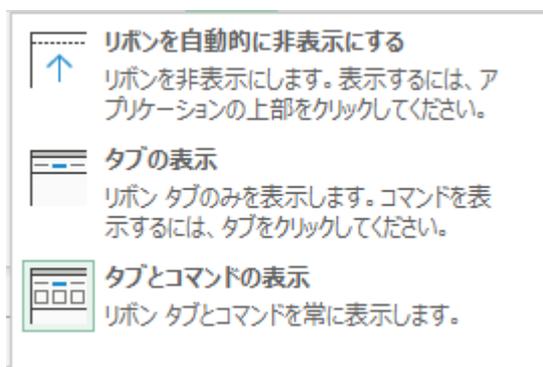
1. リボンを非表示にする

ワードのリボンは次の通りです。

（他のソフトのリボンは最後のページに記載してあります）



各リボンの右上に  が共通に表示されています。その中の左端の  アイコンをクリックすることで、下図のようにリボンの表示メニューが表示されリボンの表示方法の指定ができます。



各内容の説明をします。

[リボンを自動的に非表示にする]

これをクリ:    ンがすべて非表示になります。また、[クイックアクセス ツールバー] も非表示になります。右上端には    が表示されています。

リボンを使用したいときは作業面の上にある空白（または3点ボタン）をクリックします。そして、使いたいアイコン（コマンド）のある [タブ] をクリックしリボンの中のアイコンやアイコンをクリックして表示されたメニューの項目をクリックします。表示されたリボンを非表示にするためには作業面をクリックします。

ワードの場合

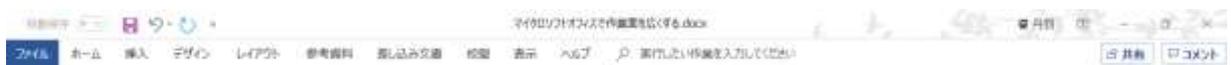


[タブの表示]

これをクリックするとリボンのうち、タブの部分のみの表示となります。[クイックアクセスツールバー] も表示されます。リボンを使用したいときは使いたいアイコン（コマンド）のある [タブ] をクリックしリボンを表示し、リボンの中のアイコンやアイコンをクリックして表示されたメニューの項目をクリックします。[タブ] だけの表示に戻すためには作業面をクリックします。

なお、リボンを表示しているとき、リボンの右端下にある山形をクリックすると [タブの表示] になります。

ワードの場合



[タブとコマンドの表示]

これをクリックするとリボンが表示されたままになります。

2. タスクバーを自動的に隠す

(ソフトを使用している間は表示しない)

タスクバーを表示したままワードなどのソフトを使用すると、作業面がタスクバー分だけ狭くなります。このタスクバーを自動的に隠す設定にすると、タスクバーの分作業面が広がります。

タスクバーを表示する位置は上下左右端に設定できますが、ノートパソコンの場合は左右端に設定すると表示できるアイコンの数が少なくなります。

タスクバーを自動的に隠す設定にする手順 (Windows10 の場合)

① [タスクバーの設定] 画面を表示する。

方法1：タスクバーの左端にある [スタート] ボタンをクリックし、左端にある歯車マーク（設定）をクリックして、表示された [設定] 画面の [個人用設定] をクリックします。表示された [個人用設定] 画面の左下にある [タスクバー] をクリックする。

方法2：タスクバーの空白部分を右クリックして表示されたメニューの下にある [タスクバーの設定] をクリックする。



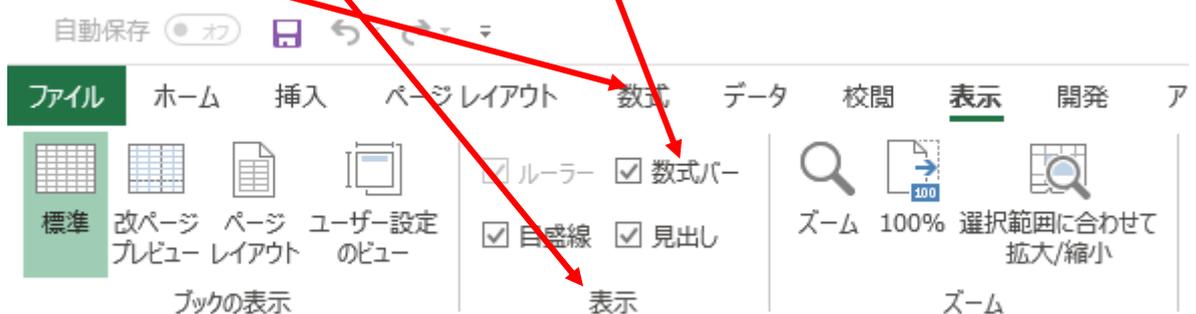
- ② [デスクトップモードでタスクバーを自動的に隠す] のスイッチをクリックしオン（緑色）にする。
- ③画面右上の [×] をクリックして [設定] 画面を閉じる。

3. エクセルの場合数式バーを非表示にする

数式バーの幅は最低1行分から画面に列番号の表示のみが残るまで広げることができますが、1行分でも表示しなければ作業面が広く使用できます。ただし、数式バーが表示されていないと入力した数式を確認することができなくなります。エクセルで住所録や名簿の作成には利用できるでしょう。

数式バーを非表示にする方法

- ① [表示] タブの [表示] グループの [数式バー] をクリックしてチェックマークを消す。



数式バーの幅を切り変える

- ① [数式バー] の右端にある山形をクリックすることで幅を1行にするまたは複数行にすることができます。山形が下向きの時は1行⇒複数行、山形が上向きの時は複数行⇒1行となります。



各ソフトのリボン

エクセル



パワーポイント



アウトルック



ワンノート

